

## 『夏の延滞』

木村 繚真 作

○登場人物（女性4名）

雛乃

瑠衣

新名（にいな）

滝川先生

幕が開く。

舞台は図書室。中央に大きめの窓（2枚以上）。窓の下方にはベンチソファが2台、壁に沿って並んでいる。そのソファの両脇には、窓枠の高さまでの本棚が並んでいる。窓から中庭の樹木が見える。夏の陽光に照らされ、緑が輝いている。

8月上旬。午後1時ごろ。滝川先生、雛乃、瑠衣がいる。

滝川 じゃあ5時までね。

雛乃 ありがとうございます。

滝川 業者さん明日の午前中に来るから、午後には大丈夫だと思うんだけど、絶対直してくださいね？うちらの人生かかってますから。

瑠衣 お、おう、伝えておくよ。

雛乃 困らせないでよ。

瑠衣 だつて先生かわいいんだもん。

雛乃 関係ないじやん。

滝川 わたしも3年目だからね？もう新人とは言わせないよ？

雛乃 早いですね。

滝川 2人はこの夏休みが勝負だ。

瑠衣 やだー。

滝川 じゃ、帰るとき声かけてね。わたしになかったらほかの先生に鍵頼んで。  
瑠衣 担任やつて司書やつて、部活の顧問までやるなんて、大変だねタツキー。

滝川 あら、ありがとう。2人もがんばって。

雛乃 がんばります。

瑠衣 あざまーす。

滝川先生去る。瑠衣、鞄をソファに置き、横たわる。

雛乃 なんだか急に意気消沈つて感じ。

瑠衣 それなあ。

雛乃 も鞄を置いて腰掛け、だらりと天井を見上げる。  
蝉が鳴き始める。しばらくの間。

瑠衣  
離乃  
寝そう。

快適だ。

電気代と地球環境を生贊に捧げてるがあー。  
エアコンはなくてはならないよー。

んあー。

そういえば綾香つて帰った?

図書館行くつて。

だよー。

のん子は家帰つたし。

集中できないんだよー、家も図書館も。

うちらだけだよ、自習室に入り浸つての。

あそこちようどいいんだよねえ。オオヤケとワタクシの狭間っていうか、

ただ集中力ないだけでしょ。

あるしー。

じやあ勉強しなよ。

……ここは、ノスタルジックすぎる。

……そうだね。

本たちが、わたしに語り掛けてくる。

なんて?

離乃 「お前は無知だ。知るべきことが山積みだー」って。

瑠衣 そりやあプレッシャーだねえ。困った困った。

離乃 あれ? もしかしてうちらつて、場所を言い訳にしてる?

瑠衣 げえ。気づいた?

離乃 逃げてたわー。直視することから逃げてたあー。  
過去形?

瑠衣 いや、現在進行形。

離乃 まあ、8月になつたばつかだし?

瑠衣 ふつ。高校3年生の言葉とは思えない。

瑠衣 勝負つてさあ、何と闘つてんだろう。

離乃 そりやあほかの受験生でしょ。

瑠衣 あーやだやだ、ほんとめんどくさい。あーああー。

照明、一瞬消える。

2人 え?

離乃 いま暗くなつた?

瑠衣 なつた。

離乃 ぜんぶ消えたよね?

瑠衣 消えた。

離乃 やっぱ古いんだよなあ、校舎全体が。

瑠衣 数年後には廃校かもだし、直す気ないんじやない?

離乃 エアコンは死活問題。

瑠衣 明日直ればいいけど。

照明、消える。4秒後、点く。

2人 ……。

離乃 あのさ、  
瑠衣 うん。

2人 身を寄せる。

離乃 普通、電気消えてもさ、真っ暗にはならなくない?

瑠衣 カーテン開いてるしね、

離乃 閉まつても、ね、

瑠衣 あそこまで暗くならない、

離乃 よね。

瑠衣 うん、絶対ならない。

2人 ……おかしい。

照明、また消える。

2人 えつ、ちょっと、ねえ何これ、ホント、ちょっと、えつ、やっぱくない?やっぱい。意味わかんないんだけど、どうなってんの??:ちょっと、マジで何?!

暗闇が続く。

瑠衣 ねえスマホは?  
離乃 あつ、あるあるある!  
瑠衣 ライトライト!

離乃、スマホのライトを点ける。

瑠衣 あー偉大だつ、光は偉大だよジョセフ、もしくはエジソンーーつ。

離乃、周囲をぐるつと照らしてみた。途中、窓の向こうに何かが見えた。  
向き直つて固まる離乃。

瑠衣 ね、そと出よ?

雕乃

雛乃？

めつちや怖いこと言つていゝ?

このタイミングで「はい」とていうか悪う?

窓のところになんかいた。

やめてよおーーー  
(雛乃にしがみつく)。

だつてほんとだもん、

卷之二

水力と源流

え  
絶対やめてよ

離乃が変なこと言うからじやん！

がでいたんがん！

過去形?

• • • • ○

忍る忍マ

の向こうで、所名が立つて、い

2人、よたよたバタバタと逃げ去る。暗闇の中、かすかに笑い声が聞こえる。

そこへ滝川先生、瑠衣、齋乃がやってくる。滝川先生が先頭で、辺りを見回す。

滝川 なんともないけど？

いや違うんですって、ほんとほんとなんですよ。

留衣  
外こへさんですよ、そこ。ね、絶対そうぢよ。

外傳卷之二

2人  
領き合う

あのね、冗談で済まないこともあるんだよ？

違わない！

•  
•  
•  
•  
•○

いるわけないじやない。

いや、だつてほんとに、  
がつかりした。

滝川先生、2人を冷たい目で見たあと、去る。立ち尽くす2人。

瑠衣 夢？

2人でおんなじ夢見る？

瑠衣 (目をこすって) ありえないよなあ……。

離乃 どの道ありえない。

2人、窓を見つめる。

離乃 開けてみる……？

待つて。

離乃 瑠衣 ん？

ちよつと、ビンタしてくんない？

離乃 瑠衣 なんで。

離のため。

離乃 瑠衣 離乃 ん？

じゃあ、本氣でやつていい？

離乃 瑠衣 え？

バーンって、日頃の恨みを込めて。

離乃 瑠衣 離乃 ん？

恨みあんの？！

離乃 瑠衣 離乃 ん？

いやないけど。

離乃 瑠衣 離乃 ん？

ないんかい。

離乃 瑠衣 離乃 ん？

じゃあちよい痛で。

離乃 瑠衣 離乃 ん？

ちよい痛な。

離乃、まあまあ強めに引っぱたく。

いつ、たああ……！

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

ごめん、ちよつ、思つたより(笑う)、

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

今、マジ80パーとかじやない？

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

いや70パーくらいじやない？

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

変わんないわ。

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

でも正気だよね？

瑠衣 瑠衣 離乃 瑠衣

痛いからね。うん、正気だと思う。

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

じゃあ開けてみよう。

うん。あ、私こっち開けるわ。

離乃 瑠衣 離乃 瑠衣

おつけ。

せーの！

2人、意を決して開ける。

すると瑠衣のほうの窓の向こうに新名が出てくる。

新名

バアツ！

瑠衣 ぎいやああああああああああああああ！

瑠衣、逃げ去る。

乃  
えつ、えつ、ええええええ？！

離乃、後ずさり。

新名 あつはつはつは！やば、マジで、おもろ。めっちゃ驚くじやん、つはつは、お腹痛い。

新名はあーつ。

乃にいな……?

雛乃  
……どういうこと

新名  
といふことだらうね  
にいななの?

新名にいなだよ。

新名  
んーー。

籬乃 こんなこと、ありえないじゃん……。

その笑い方……、にいなあ……！

雅乃、新名こくち寄る。

新名  
ストリップ！

雛乃  
えつ?

新名  
私にふれたらどうなるか分かんないよ?  
つてか、さわれるの?

**新名** わかんないけど、覚悟の上なら、さわっていいよ？（手を出す）

新名  
キモい？！

籬乃  
いや、改まつて言われるとなんかヤダ。

離乃 感動の再会の勢いでガーッと行くならいいけど、  
一々待つのはどうも。

新名  
一回決め切つたのか

新名  
力へておこし、人和がて。く分かへてかいんナヤハ  
雛乃  
……それ、いまどういう状況なの？

新名  
いや、さつきまで、一面真っ白のふわふわしたとこに浮かんでたのよ。

雛乃 浮かんでた？

新名 きもちーなーなんて思つてたら、なんか中庭にいて。  
雛乃 はあ。

新名 パツと見たら、雛乃と瑠衣が見えて。

新名 ほう。

新名 こりやあいい、おどかしてやろうと。

新名 性格悪くない？！

新名 ごめんて。

新名 めっちゃ怖かつたんだからね？

新名 いや、なんかぎやあぎやあ言つてたけどさ、電気は私の仕業じやないから。  
新名 でも電化製品に影響するとかいうじゃん。

新名 知らないよ。

新名 それにしたつて驚かす必要ないじやん。

新名 だつて久しぶりだつたんだもん。

新名 え、なに、久しぶりって感覚はあるの？

新名 ある。

新名 へえー。

新名 なんか時間経つてるのは分かるんだよ。

新名 その、ふわふわ空間で？

新名 うん、そうそう。でも心地良すぎて、時間経つてる気がしない。

新名 相対性理論的な？

新名 いや分かんないけど、なんかたぶん、神聖な、アレなんじやない？

新名 神聖なアレ？

新名 アレ。

雛乃、妙にツボつて笑う。

新名 どこにツボつてんの？

雛乃 ゼンぶだよ。もう意味わかんないんだもんこの状況。神聖なアレつてなんだよ。

新名 まあね。そうだよね。

雛乃 はあー、もう夢でも幻覚でもなんでもいいわあ。

新名 いまつて何年生なの？

新名 3年生。

新名 受験？

雛乃 ジュケンーー……。

新名 大変だね。

雛乃 大変だよー。みんな目つき変わっちゃつてさあ。ピリピリしてんの。嫌になる。

新名 そつかあ。

間。

雛乃 ごめん。

新名 ああ、ううん。全然。なんか、まだ実感ないんだよね。

雛乃 ……。

新名 彼氏できた?

雛乃 できてません。

新名 なんだ。

雛乃 瑞衣はいた。

新名 過去形?

雛乃 ……うわあーー。

新名 え?

雛乃 そうだわ。

新名 何が。

雛乃 「過去形?」って、にいながよく言つてたんだあ、口癖。

新名 あー。

雛乃 だからうちらにも移つてさあ。うわ懐かし。  
新名 じやあ移植成功だ。ぴゅつ（雛乃に触れる）。

雛乃 ……。

雛乃 手のひらを出す。  
雛乃 お手。

新名、手をグーにして、雛乃の手のひらに乗せる。  
間。

雛乃 あのさ、

新名 ん?

雛乃 手えめっちや冷たいよ?

新名 うそ。

雛乃 触つてみて。

新名 んー、自分じゃ分かんないわ。

雛乃 氷みたい。

新名 それにしちゃリアクション薄くない?

雛乃 いや、なんか、台無しになる感じしたから。

新名 演出しなくていいって。

雛乃 ふふ、つい癖で。

新名 あれ? 部活引退した?

雛乃 うん、したよ。  
新名 部員入った?

雛乃 今年は4人。

新名 絶妙！。

雛乃 入ってくれてよかつたよ。

新名 雛乃が部長だつた？

雛乃 副部長。

新名 あー。そのほうがぽいかも。

雛乃 ぽいでしょ。

新名 自覚あるの？

雛乃 ある。

新名 変なの。

雛乃 変だろー。

新名 変だわー。

そこへ瑠衣が戻つてくる。

瑠衣 あんたら普通に喋つてんな！！

新名 うわっ、なんか來たー。

瑠衣 うわーー。

瑠衣 それ私に言うの？！

新名 逆か。

瑠衣 逆だし、ほんとにあんたが

にいなかどうか分かんないんだからね！

瑠衣 いや、にいなじyan。

瑠衣 ちょっと、こつち。

瑠衣 なに。

2人、新名から離れて話す。

瑠衣 あの子、にいなの振りしてんじやない？

瑠衣 振りつて、なんで？

瑠衣 新手の詐欺だよ。闇バイト。

瑠衣 なんの得にもならないでしょ。

瑠衣 あつ、何かの勧誘だ。

瑠衣 あー。

瑠衣 ね？ありそудjyan。

瑠衣 でも口癖あつてるし、笑い方なんて にいなそのものだよ？

瑠衣 いや、いなかつたjyan。いたら気づくよ、あのとき。

瑠衣 ……じやあんなの？

瑠衣 だから本物だつて。話してみなよ。

雛乃、瑠衣の背中を押す。

新名 やほー（笑つて手を振る）。

瑠衣、雛乃のところへ戻つてくる。

瑠衣 にいなだあーーーー！

鶴乃  
たから

離乃  
確かに。

# 瑠衣にいな！

留衣

新名  
はーい。

新編刀劍譜

瑞衣 窓の向こう側（中庭）に出てくる

鶴乃  
どうー?

離乃  
之元?

瑠衣  
いな  
いよ?

留衣え、見えないんだナジ。

籬乃 ここ（指す）

卷之三

瑠衣、新名に触れようとすると、新名は避ける。都合上ね。

籬乃  
瑠衣  
え、何これ今、すり抜けてんの？！（何度も触れようとする）  
うん！すり抜けてる！新名は全然動いてないのに、すり抜けてる、よう見えるーっ！！

新名、別の窓へ行つて、

新名物？

雛乃、本棚から本を取つて渡す。

えええええええ？！

瑠衣  
雛乃  
なに。

瑠衣 ほ、ほ、本が！浮いてるーーー！

留衣 乃  
あ そ  
う な  
る の ?

雛乃うん。

瑠衣 すごー！ボルターガイストじやん！

新名、本を鳥のように羽ばたかせる。

瑠衣 うおおおお！鳥！鳥みたい！ね、雛乃見えてる？！

離乃  
いや、私からはにいながバカやつてるようしか見えない。

新名 あつはつはつは！

瑠衣 うひーつ！すげえー！  
雅乃 いや、ダメだよ。

ノカニガ

2人は中庭をのびのび

やがて2人は消える。ソファでぼーっとする雛乃。

冷房がかかっているのに窓を開けていることに少し罪悪感があるなあ、なんて。

卷之三

エアコンが動いていないことに気付く。留衣が戻ってくる。

瑠衣  
いやー、この世はアンビリバボーだわー。

籬乃  
にいなは?

瑠衣本 読んでる。

蜀刀  
さくの?

雖乃一言，亦可謂之氣也。

留衣  
にいの影響?

雛乃  
あし

瑠衣　自習室のエアコンも。

乃  
あつ、  
そうだわ。  
そうかも。

瑞衣  
ても涼しくない。中庭も暑くなかつたよ。

留衣  
第一回

離乃  
空氣もひんやりするのかな。

瑠衣  
エコだね。

離乃 このまま冬に戻つたりして。  
瑠衣 ……それもありだね。

間。

瑠衣 タツキーつてさ、  
離乃 うん？

瑠衣 どれくらい入院してたっけ。

瑠衣 ……どうだっけ。

2学期には、まだ戻つてなかつたよね。

瑠衣 うん、だと思う。

瑠衣 にいな、私たちよりも会わなきやいけない人、いるんじやないかな。  
離乃 ……。

新名 誰？  
2人 おああーーっ！！？

窓からひょっこり顔を出した新名に驚く2人。

瑠衣 びっくりしたあ。

離乃 だからいちいち脅かさないでって。

新名 えつへつへつへ（本を離乃に差し出す）。

離乃 もういいの？

新名 うん。それよりさ、探して欲しい本があるんだけど。

離乃 なに？

瑠衣 あれっ？

新名 ん？

離乃 どしたの。

瑠衣 窓からなら、こっち来れるんじやない？

新名 あー。

え、なんの話？

離乃 さつき渡り廊下から一緒に中入ろうとしたんだけど、ね。

新名 うん、入れなかつたのよ。

離乃 どういう感じで？

瑠衣 こう、こういう壁が、こう

パントマイム下手あ。

新名 はあ？でもエスカレーターめっちゃうまいからね私。

やつてみー？

新名、エスカレーター（下り）をやつてみせる。

雛乃 ああ、じょうずじょうずー！（拍手）

上りもやる。

雛乃 おー（拍手）。

新名 いやなんの時間？

瑠衣 自分で振ったんじやん。

雛乃 よし、じゃあやってみよう。ハイ、来て。

新名、窓枠のレール部分に両手をかけて図書室側に来ようとすると、

雛乃 おっ！

瑠衣 上半身こっち来てるじやん！

新名 いや、これ、ちょっと、無理かも……！

雛乃 ぐつと、がつと、足、掛けれない？

新名 なんか、足が上がるんじゃない！

雛乃 それは運動神経の問題？

新名 オイッ。

瑠衣 まずダイエットが必要なのかも。

新名 喧嘩売ってんのかあ？

雛乃 引っ張つてみる？

瑠衣 おつけ。

2人、片腕ずつ持つて引っ張る。すると一瞬照明が消える。

3人 !?

雛乃 ちょっと、にいな！

新名 私じやないって！

照明再び消える。

瑠衣 じゃあなに！

新名 知らないよ！

雛乃 放す？

放す！

新名 え、ちょっと待つ、

手を放すと中庭に倒れる新名。雛乃と瑠衣は室内に尻もちをつく。照明が点く。

瑠衣 いつたあ。

離乃  
瑠衣  
大丈夫？  
大丈夫。

2人 中庭を覗き込んで、

2人 ごめーん。

新名 すくっと立ち上がる。

新名 頭打ったけどぜんぜん痛くない。それよりなんか首が痒い（首の右側を搔く）。

2人 ……。  
新名 まあ結果、上半身まで。

離乃  
だね。

瑠衣 つてかなんでこつからだけ見えるんだろ。

離乃 廊下の窓からも見えなかつた？

瑠衣 見えなかつた。

離乃 何か、理由があるのかな。

瑠衣 理由……。

新名 2人は、もう覚えてないかもだけど、私、この図書室と、中庭が好きなんだよね。  
離乃 覚えてるよ。

新名（客席を指さし）よくそこの席に座つてた。本の匂い。静けさ。光のあたる読書スペースと、薄暗い書架コーナーのコントラスト。部屋の奥の角には、空気がひつそり溜まつてゐる。この窓を開けると柔らかい風に乗つて、緑の匂いが流れ込む。遠くから、いろんな物音、みんなの声が聴こえてくる。沈黙していた本たちが、図書室全体が、私が、息を吹き返すような新鮮な感覚になつた。

瑠衣 うちらも、入学してすぐは、よく来てたよね。

離乃 うん。中庭でも、よく遊んだ。

瑠衣 にいなは、鯉に餌やつてたよね。

新名 うん。近づくだけでパクパクしてさ。かわいくつて。

3人 中庭の池を見る。

新名 いつ？水、抜いたの。

2人 ……。

新名 死んだの？

瑠衣 ううん。なんか……、いろいろあって、別のところに移された。

新名 いろいろって？

瑠衣 もう、2年前だし、覚えてないや。

新名 でも、生きてるんだね、みんな。  
うん。

瑠衣

新名 よかつた。

間。

新名 雛乃にいな。

新名 雛乃ん？

新名 雛乃さつきの、探してほしい本って何？

新名 雛乃ああ。重松清さんの、『きみの友だち』って本。

新名 雛乃それが、読みたいの？

新名 雛乃ううん。借りっぱなしの、わたしが。

新名 雛乃それ、いま思い出したの？

新名 雛乃うん。さつきパタパタやつてたとき。なんか引っかかるなあって、思ったの。

新名 雛乃あるかどうか見ればいい？

新名 雛乃うん。

新名 雛乃もしかつたら？

新名 雛乃返したい。

新名 瑞衣その本を返すことは、重要なこと？

新名 雛乃みんなの本だから、返さないと。あるべきところに。

新名 雛乃……探してみる。

新名 雛乃ありがと。

新名 雛乃ううん。

雛乃、図書室の奥（出入口とは反対側）に去る。

瑞衣 そういえば、にいなつてそんな奴だったね。

新名 ふふ、バカにされてる？

瑞衣 してない。

新名 そうかなあ。

瑞衣 責任感。すごいなあって、思つてた。

新名 過去形？

瑞衣 ……今も。

新名 いえーい。褒められたぜえ。へへ。

瑞衣、深く息を吐く。

新名 大丈夫？

瑞衣 にいなこそ。大丈夫なの？

新名 んー。日曜日に、布団の中で、まどろんでる感じ。

瑞衣 午前10時？

新名 ふふ、それはお母さんが「起きろー！」って騒ぐ時間だ。

瑠衣……いいね。

新名……あんまり思い出せないの。楽しかったことだけ覚えてる。穏やかで、幸せだよ。

瑠衣、ソファに横になり、腕で顔を覆う。

新名入学してすぐのオリエンテーション合宿、楽しかったよね。いきなり宿泊って緊張したけど、森の中で謎解きしたり、チェックポイント探したり、いっぱい歩いたよね。夜はみんなで一緒にご飯食べて、自己紹介ゲームやったり、フルーツバスケットやったり、

瑠衣と雛乃が私をクラス会長に推したから、ホントにやることになっちゃつたり。

瑠衣もういいよ、

新名夜更かししたね。たくさんおしゃべりした。この時間がずっと続けばいいのにとって、寝るのが惜しくって、眼氣に耐えてまどろんで、いつの間にか夢に落ちてた……。雀の鳴く声。みんなの寝息。陽の光が透ける窓の障子。朝の澄んだ冷たい空気。山の緑、空の青さ、ラジオ体操。昨日のように覚えてる。みんなの声も、笑顔も、やめてよ……！

瑠衣、声をこらえて涙を流している。

間。

雛乃が戻ってくる。手には本。

雛乃どうした？

瑠衣顔洗つてくる。

瑠衣、去る。

新名どうしたの？

雛乃死相が出てた。

え？

新名笑つて欲しかったんだけどなあ。

え？

新名……。

新名あつ、それ。

雛乃、本を渡す。

新名あつてる？

新名あつてる、けど、こんな綺麗だったかなあ。

雛乃、寒気を感じ、腕をさする。辺りを見回す。

一旦出入口側の袖へ去り、ブランケットを肩にかけて戻つてくる。

新名 なんで？

新名 気にしないで。

新名 ねえここ、見て。ハンコ。去年の春。

新名 ……じゃあ、新名が借りたやつじゃないってこと？

新名 うん、たぶん。だからまだどつかにあるんだと思う。

新名 どつか？

新名 家かなあ？持つて帰ったかなあ。曖昧。

新名 いつ借りたの？

新名 んー、期末テストが終わつたころ。滝川先生が薦めてくれたの。

新名 タツキーが？

新名 うん。タツキーさ、新卒でうちらと一緒に入つたじゃない？

新名 同期ね。

新名 そうそう、言つてたよね。

新名 ちょっとは貢献出てきたよ。

新名 うん、実はちよろつと見てた。

新名 あ、さつき？

新名 うん。

新名 いたなら出てよー、怒られたじやん。

新名 だつて最初誰か分かんなかつたんだもん。

新名 ええ？

新名 引き締まつた顔つきに、堂々としたふるまい。

新名 そうかあ？

新名 2年ぶりに見たらね、そう感じるんだよ。

新名 あー、近くにいると分かんないか。

新名 わたし、タツキーのこと心配だつたの。

新名 心配？

新名 あの人、絶対先生向いてないって。

新名 まあ、先生感はなかつたよね、確かに。

新名 緩くてちょっと天然で、その癖いっぱい仕事抱えてさ。でも友だちみたいに対等で、

新名 優しかつた。

新名 今は？変わつた？

新名 ……いろいろ、あつたんだよ。

新名 いろいろ？

新名 雛乃（不意に泣きそうになる）それより本！どうする？返したいなら、私ほかも探してみるけど！

新名 いいの？

新名 でもそれよりも、にいなお母さんに来てもらおうよ。

新名 え？

新名 きっと、絶対、会いたいよ。にいなもそうでしょ？

問。

雛乃 どう？

新名 やめたほうがいいと思う。

雛乃 誘い方は、うまく考えるから。わたし、台本書いたことがあるし。

新名 そうじやなくって、

雛乃 うん？

新名 うちのお母さん、メンタルお豆腐だから。いま、どうしてるか知らないけど、もし会つたら、どんなことになるか分からない。

雛乃 ……。

新名 会つた？うちのお母さんに。

雛乃 (頷く)

新名 どうだつた？

雛乃 ……、言い表したくない。言葉じや、軽すぎる。

新名 ……。

雨が降つてくる。新名、客席に背を向け天を仰ぐ。雨粒は、新名の体をすり抜けていく。雨脚が強まっていき、やがて土砂降りになる。

暗闇。土砂降りの音の向こうに、新名の母の慟哭が微かに聴こえる。やがて、雨音FO・蟬の声FI。暗闇から滝川先生の声が聞こえる。

滝川 聞こえる？大丈夫？！

溶明。床に横たわっている雛乃。肩を叩いて声をかけている滝川先生。雛乃、目を覚ます。

滝川 ああ、よかつた。

胸をなでおろす。そばには瑠衣もいる。上体を起こす雛乃。支える滝川先生。

瑠衣 何があつたの？

雛乃 ……わかんない。雨が降つてきて、それで、

滝川 雨？雨なんて降つてないよ？

え？

瑠衣 今日はずっと晴れ。まあ、冷え込むことはあつたけど（ブランケットをたたむ）。

雛乃 にいなは？どこ？

滝川 まだそんなこと言つてるの？

ねえ。

瑠衣 わかんない。戻つてきたら雛乃が倒れてて、  
雛乃 にいな、借りた本返したがつてる。

滝川 借りた本？

雛乃 先生が薦めた本です。

滝川 ……、

雛乃、ソファに置かれた本を手に取り、滝川先生に差し出す。

雛乃 これ。

……なんで、

先生、にいなが借りたの知っていますよね。返してないのも。にいなは自分の持つてる本を返したがってます。それが一番の理由かどうか分からぬけど、きっとにいなは何か、違う。

滝川 違う。

先生、

滝川 もとの本は、私が持つてるから。

2人 え？

滝川 ……あの日、新名さんは、中庭でこの本を読んでたの。一学期終業式の日。午後1時。学校に、男が侵入した。ベンチに座る新名さんの、右斜め後ろから、男は、新名さんの首にナイフを刺した。刺したナイフと、スカートの腰元を持って、男は新名さんを目の前の池に放り投げた。

先生、

瑠衣 ナイフが抜けて血が飛び散った。

滝川 やめてください。

雛乃 滝川 私は、すぐそばの、その（指す）、渡り廊下にいた。目の前で見た。

雛乃 滝川 先生、

滝川 いい？ ねえ。聴いて。受け止めることはつらいことだと思う。私も、こんなことなら教師になんてならなきやよかつたって、私も致命傷だつたら良かつたのにって、思ったよ？「浮かれてる女にイラついてた」なんて、身勝手な理由で人を傷つける奴がいるこの世の中に絶望したよ……？ でもね、でも……、でも、

言葉が続かない。

照明、消えてすぐに点く。

滝川先生、見上げる。顔を見合わせる雛乃と瑠衣。  
照明、4秒消えてまた点く。

なに？ いまの……。

先生。どうか、お願ひします。今だけ信じてください。

あなたたちは、

わたしたちじやなく先生の、信じたい気持ちを、信じてください。

そんなこと、したつてどうにもならないよ。

照明消える。中庭の木々の緑が、光を帶びていく。

滝川 瑠衣  
滝川 雛乃  
滝川

窓の向こうから、陽光ではない光が射し込んでくる。  
新名がひょっこりと顔を出す。

新名 やつほー。

手を振る新名。滝川先生、開いた口が塞がらない。手も頸も、全身が震える、呼吸が乱れる、目の前が、滲む。

新名 タッキー、つて、なんかもう呼びづらいな。

涙があふれる滝川先生。

滝川 新名さん……？

新名 いまの話、聞いたやつた。……私、刺されたんだね。

3人 ……。

新名 （涙を堪える）先生。せんせいも、刺されちゃつたの？

滝川 ……（頷く）。

新名 どこ？

滝川 背中（背中の右側を押さえる）。

新名 痛かったよね？

滝川 （首を横に振る）わたしは、私は腎臓ひとつ、無くなつただけ……！

新名 もう1個あるの？

滝川 （何度も頷く）

新名 そつか。助かってよかつた。

滝川 （嗚咽）

新名 先生。あの本、途中までしか読めなかつた。

滝川 （頷く）

新名 でも、先生があの話が好きなの分かつた。

滝川 わかつた？

新名 （頷く）人は、かなしみで繋がつてる。かなしいから、優しくなれる。ほんとうに大事な

人を、大事にできる。

滝川 ……新名さん。こんな、頼りない、先生らしくない先生に、優しくしてくれてありがとう。

新名 （微笑み）立派になつたね。

滝川 （泣き笑い）見送りたかつた。新名さんが、卒業するのを見たかつた。

新名 ……先生。

滝川 うん……？

新名 借りた本、私の代わりに、返しておいてくれますか？

滝川先生、大きく頷き、

滝川 うん。ちゃんと、返すね。あるべきところへ。  
新名 ありがとう、タツキー。

笑顔の新名。すべての照明消える。暗闇。

遠くに蝉の鳴き声が聞こえる。溶明。新名はいない。光が消える前の状態のままの3人。

滝川 ……2人とも、ごめんなさい（頭を下げる）。  
離乃 やめてください。

滝川 ごめんなさい。

滝川 先生も、にいなのこと、ずっと大事に思つてるんですよ。

滝川 この学校の職員みんな、地域の人たちもみんな、新名さんを忘れない。もう絶対に、同じことを二度と、繰り返させない。

瑠衣 （何度も頷き、）絶対。

離乃 うん。

滝川 大きな息を吐き、立ち上がる滝川先生。

離乃 大丈夫ですか？

滝川 まだ、信じられないけど、でも、とにかく私は、本を返さなきや。

離乃 返したら、もう、会えなくなっちゃうのかな。

瑠衣 そのつもりだつたんじゃないの？

離乃 そうだけど……。

滝川 叶えなきや。新名さんの願いなら。

瑠衣、図書室を見回す。離乃は中庭に目をやる。

瑠衣 私、この学校オンボロだけど、無くなるの嫌だ。

離乃 私も。

瑠衣 統廃合、切り抜けられますか？

滝川 今、みんなが頑張つてる。学校の魅力が伝わるように。なにより安全であるように。生徒・職員みんなでこの学校を守ろうとしてる、立ち直ろうとしてる。今、2人にして欲しいことは、しっかりと学ぶこと。自分自身の未来のために。

2人 （小さく頷く）

滝川 まだ残つていく？

2人 はい。

滝川 （頷く）

滝川先生、窓のほうを一瞥し、微笑んで去る。

瑠衣 ……で？

離乃 ん？

瑠衣 終わり？

離乃 さあ。

離乃 結局、にいなに何もしてあげられない。本を返すだけ？

離乃、一旦ブランケットを片づけに去り、戻ってくる。

離乃 同窓会しよう。

離乃 同窓会？

離乃 1年生のときのクラスメイト集めて、ここで謎解きゲームとか、フルーツバスケットとか。一緒にご飯食べて、夜更かしして、朝はラジオ体操しよう。

瑠衣 泊まるの？

瑠衣 うん。

瑠衣 図書室に？

瑠衣 うん。

瑠衣 それ実現可能？

瑠衣 私を誰だと思ってんの。

瑠衣 2代目クラス会長。

瑠衣 2年ぶりに、クラスメイト全員集合。

新名 そーれはちょっとやめて欲しいかも。

新名、顔を出す。

新名 じゃーん。

2人 ……。

新名 あれ？驚かないの？

瑠衣 出てくると思った。

新名 慣れ過ぎじゃない？

離乃 にいな、同窓会イヤ？

新名 嫌じやないし、みんなには会いたいけど、怖いんだよ。

瑠衣 怖い？

新名 未練が増えそう。

瑠衣 ……。

新名 どんどん記憶が蘇ってきて、名残惜しくなっちゃう。私は保育士になりたかったし、結婚したかったし、振袖着たかったし、お酒も飲んでみたかったし。みんなに会つたら私、嫉妬に狂って鬼になるかも。

2人 ……。

新名 だから、人間のうちに、わたし、大人しく帰ったほうが（不意に涙が込み上げる）、んーー

……！

籬乃と瑠衣、ソファに立膝で乗り、2人で新名を抱き寄せる。ぎゅっと、抱き合う3人。

新名 窓ジャマあーーー

新刊  
大文人明日

新名  
うん。遊ぶ。

新名  
体操服が浮いてる感じ?

瑠衣 わかりやすいでしょ。

新名透明人間

乃  
ア  
レ  
ツ  
?

瑠衣  
ん?

籬乃 ねえうちらがさ、この窓から、あっち側に行つたらどうなるんだろう。

三  
人

瑞衣やつてないが

留衣 まあ、どうなるか試してみるか。

新名 こつち来るの？

雛乃  
うん。

卷之三

照明、一瞬消える。

3人  
え?

竜乃 このタイミングで？

新名　や、ごから知ら

離乃  
まあ、どうせ見えない感じで終わるだろうから、

瑠衣 もう慣れたよね完全にうちら。

雛乃  
うん。

2人  
ハイハイ。

窓枠のレール部分に足をかける2人。  
照明、4秒消えて点く。

乃籬衣うん。行くよ？

ここで滝川先生が約束の本を持って図書室にやってくる。足をかけている2人を見て、

滝川 えっ？

2人 セーのつ！！

滝川 ちょっと何して

2人が向こう側に降りきる前に照明が消え、暗闇。

3人、入学当初の制服姿（冬服）になる。鞄は滝川先生が回収して去る。照明、点く。舞台は約2年3カ月前。懐かしい、セピア色の情景。

4月末。瑠衣と雛乃に続き、新名が図書室にやってくる。

瑠衣 絶対雛乃だよ。

雛乃 違う、あれは にいなか瑠衣ちゃんだよ。

新名 いやあれば絶対瑠衣。

瑠衣 ないない、少なくとも私ではない。

新名 見てたよねー？

雛乃 見てた、微笑んでたよ。

新名 恋愛映画みたいに。

瑠衣 先輩の熱い視線。

新名 恋、始まっちゃう？

2人 きやー！（バシバシ叩き合う）

瑠衣 勝手に盛り上がるよー。

図書室の奥から、本を数冊持つて滝川先生が出てくる。

滝川 ねえねえ、

3人 ？

滝川 図書室だから、（自分の唇に人差し指を当てる）。

雛乃 すみません。

瑠衣 先生それぜんぶ読むんですかあ？

滝川 ううん。これは部活の準備。顧問なの、

新名＆滝川 文芸部の。

2人、笑う。

雛乃 あ、そつか。文芸部にしたんだったね にいな。

滝川 2人は何部に入つたの？

雛乃 私は演劇です。

瑠衣 あーしは美術部ですっ。

滝川 おー、文化部トリオだ。

瑠衣 知的ですよね。

シャキーン！3人、それぞれ知的なポーズ。

滝川 ふふつ、すっかり仲良しだね。  
新名 先生も入れて4人組ね。

ええつ？

シャキーン！3人先程と別ポーズ、滝川先生もダサポーズをキメる。3人爆笑。  
チャイム・照明薄明かり。雛乃、瑠衣、滝川先生は去る。

新名は本棚から本を取ってソファに座り、読み始める。照明戻る。

5月。図書室に瑠衣がやってくる。

瑠衣 にいなあー。

新名 言文、赤点だつたあ。

瑠衣 そうか、瑠衣さんは古典が苦手か。

瑠衣 にがてーん。

新名 古典赤点どうしてん。

瑠衣 さっぱりわかんないんだよー！覚えること多すぎい。

新名 期末テストで大逆転。

瑠衣 教えてーん！

新名 厳しいよ？

瑠衣 がんばります。

新名 時給120円。

瑠衣 リ、リアクションに困る金額。

新名 とりあえず間違えたところを確認しよう。

瑠衣 あなたが神か！

新名 神でーす（ギャルポーズ）。

瑠衣 ギャルじやん、

新名 神でーす（ギャルポーズ2）。

瑠衣 つは、しょーもな。

新名 は？ワレ神やぞ？

瑠衣 時給120円の？

2人、手を叩いて笑う。袖から「シーッ！」という声が聞こえる。口に手を当てる2人。  
チャイム・薄明かり。新名、本を棚に返し、2人とも去る。  
照明戻る。6月。中庭に夏服の雛乃が来る。やがて新名も夏服で図書室に来る。  
窓の向こうから、



離乃 部活ー。

瑠衣 あんたら趣味があつていいねー。

離乃 先輩と遊べばいいじゃん。

新名 そうだよ。

瑠衣 進展ありません。

2人 えーっ。

瑠衣 まあそれは置いといて、じゃあまた今度ね？絶対だよ？

新名 うん、また今度。

離乃 気が変わつたら連絡してね。

新名 うん。

離乃と瑠衣、新名に手を振つて去ろうとする。新名、同じ方向へ歩く。

瑠衣 ん？

新名 中庭で読む。

瑠衣 きょう曇つてると暑くない？

新名 風通しいいんだよ？木陰は気持ちいいし、池の鯉が風流だし。

離乃 エエなんかオシャレー。

新名 まあ8月になつたら、さすがに無理だろうけど。

離乃 気を付けてね。

新名 え？

離乃 熱中症。

新名 ああ。うん……。

瑠衣と離乃、去る。新名、何か違和感がある。悪い予感がする。  
立ち止まつていた新名、ゆっくりと去る。

新名、おずおずと中庭にやつてくる。記憶が蘇っている。

それでも中庭中央に置かれた背もたれの無いベンチに腰掛ける（客席に背中を向けて）。

震える新名の背中が丸く、小さくなっていく。

そこへ、上手からフードを被つた男が右手にナイフを持ってやつてくる（男役は滝川先生  
が演じるが、人員が足るのであれば兼ねなくてよい）。  
男、至近距離で刺突の構えをとつたところで静止。

新名 ううつ……、死にたくないつ……！

時が動き出す。男が新名の頸部右側にナイフを刺す、寸前、瑠衣の怒号が中庭に響く。

瑠衣 オオオオオオー——イツツ！！！

瑠衣が駆け込んできて、男にタックル。倒れ込む2人。

校内放送（滝川）業務連絡、業務連絡、空調設備に重大な故障あります。担当者は確認してください。繰り返します、

雛乃  
瑠衣ーツ！

雛乃も駆けてくる。

雛乃 何してんのつ……！

離乃も犯人に覆いかぶさる。

取り押さえる現場は客席からは見えず、声だけが聞こえる。

瑠衣  
籬乃 暴れんなコラア！！！  
先生ーッ！！

卷之三

新名も取り押さえに加わる。

## 新名 ファイトーツ！

3人 ファイトオオオオオオ――――――――!

職員らが駆けつけてくる。

瑠衣 雛乃 先生こつちツ！  
早くつ……！

ハイツ、ハイツ……いいですか？！放します！

瑠衣、現れる。

瑠衣  
ハアツ、ハアツ……！  
籬乃  
いつたーつ！  
籬乃？！

雛乃と新名、現れる。

ここで図書室の壁が真ん中で割れ、左右へと開く。図書室と中庭が1つになる。舞台に白いモヤが流れ込んでくる。

籬乃  
瑠衣  
籬乃  
大丈夫大丈夫、指、踏まれただけ。  
やば、マジで、やば、

瑠衣 だつてもう刺す寸前だつたんだよ、行かないわけないじやん。もう、私ずっと後悔してた  
んだよ、この日から、ずっと、生きててなんにも楽しくなかつた。でも今、間に合つた  
だよ？

2人 (にいなの顔を見る)

新名 なんで、2人とも、なんでいるの……??

瑠衣 なんでつて、ねえ？

離乃 ……まあ、この世には、不思議なこともあるってことで。

瑠衣 どうしても、受け入れられないことがあるってことで。

間。

新名 わたし、生きてていの……?

2人 あたりまえじやん！！

新名 う……、

瑠衣 にいなのいるべきところはここだよ。

離乃 (慈愛に満ちた笑顔で) おかげり。

新名 うわあああああああん…………!!

新名、2人の胸の中で泣く。妨げるものは何もない。

柔らかな光が、3人を包み込む。

ここは並行世界か天国か。夢か妄想か。

いずれにせよ、3人は幸せになる。

幕。